

### 一日図書館員

図書館をより身近に  
感じてもらうために

一日図書館員は小・中学生がふだん利用者側からは分からない仕事を体験することで、図書館をより身近に感じて、図書館利用の推進を図ることを目的としています。

子どもたちがやりたがるカウンタ―での貸し出し・返却、子どもたちになじみ深い児童書の書架整理、比較的やりやすい資料に透明の保護カバーをかける装備作業などを体験します。体験中は職員が必ず傍らに付いており、個人情報にかかわる業務については職員が行っています。また、守秘義務については開始前に十分な説明をしています。

最近では、コンピュータを使う仕事も増えてきました。

最後に、終了証や記念写真等を渡され、子どもたちにとっては、夏休みの楽しい思い出作り

と、図書館に親しむきっかけの一つとなっております。

今年は六館で五十名の子どもたちが体験しました。その感想の一部を紹介します。

(一部抜粋)

## 図書館の仕事体験する機会の提供

がどんどん流れこんできて、仕事を覚えるのが大変でした。そんな中、スタッフのみなさんが「覚えが早くてえらい」などほめてくださって、僕はそれが仕事のはげましになりました。

ほかにもなかなか普通では体験することのないもの、例えば、CDや本を他の市内の図書館に送る作業、児童たちへの本の読み聞かせなどをさせていただき、ありがとうございます。僕は今回の仕事で図書館の仕事を知り、お客さんへの対応の仕方、仕事の楽しさ、そして仕事が終わった後の充実感を学びました。それらをこれから学問、生活、そして将来の仕事に役立てたいです。本当にありがとうございます。

敬具

拝啓 蒸し暑い日が続いていますが、その後いかがお過ごしでしょうか。

さて、先日はとてもお忙しいところを貴重なお時間を



たくさん返ってきた本を棚に戻します。

### 一日図書館員感想

初めて図書館員をやってみて返さなくとかし出しが一番おもしろかったです。返さなくはたくさんやったけど、かし出しは自動かし出しきでかりてる人が多くて、一三人しかできませんでした。でもすごく思いになりました。

一番大変だった仕事は、本にシールを貼る作業です。なぜなら、本とシールの間に空気が入らないようにシールを貼らなきゃいけないからです。

本棚の整理、借りた本等を戻す作業、私もやりましたがラベルの番号を見て、それ通りに戻すのは大変でした。



まちがえないように、慎重に

割いていただき、ありがとうございます。

一つひとつの細かい作業を、利用者の方のことを考えて、丁寧にやる必要があるということを知ることができました。

どんな仕事にも、辛いことや嬉しいことがあり、それぞれにやりがいを感じられるとわかり、この職場体験を通して、将来どのような仕事に就いても、ここで学んだことを活かして、社会で役立つように、誰かを支えていきたいです。

みなさまのご健康と一層のご活躍をお祈り申し上げます。

本当にありがとうございます。

敬具

拝啓 うつとしい日が続いていますが、その後いかがお過ごしでしょうか。

さて、先日はとてもお忙しいところを貴重なお時間を割いていただきありがとうございます。

配架、除籍、カウンター業務など興味深いことばかりあり、私にとっても印象に残っ

### 中学生の職場体験

働くことの充実感を  
味わってほしい

中学生の職場体験は、キャリア教育の観点から行われています。図書館では、平成十一年度から受け入れていますが、働くことの意義と楽しさを実感してもらえよう、プログラムを組んでいます。個人情報に配慮しつつ、カウンター業務や書架整理、本の装備作業だけでなく、除籍作業やおはなし会(実施日の場合)など、二日から四日にわたって職員と同じ日常業務をしてもらいます。

おはなし会では工作の準備や読み聞かせを体験します。ほとんどの生徒にとって読み聞かせは初めてなので、事前にも練習します。緊張しつつ一冊読み終え、聴いていた子どもたちから拍手をもらうと、みな満足した表情を浮かべます。任された仕事を成し遂げ、充実感を得る体験を通して、責任をもって働くことの大切さを感じてもらいたいと考えています。

この職場体験は、図書館にとつては中学生の生の声を聴くことができ、読書傾向を知ることができ、選書の参考になります。また、レファレンス資料や地域・行政資料など多様な資料があることを知ってもらうことで、一生涯の利用者になつて

ていきます。本などこわれていたりすると、なおすのがとても大変です。なので、私ももし図書館に行つたさい、本を借りる時は大切に扱おうようにしながらはいてほしいなと思います。

みなさまのご健康と、一層のご活躍を、お祈り申し上げます。

敬具

### 教員研修の受け入れ

学校との連携の  
充実を願って

市内小・中学校の新任教員の図書館における研修は、東京都立学校初任者研修実施要綱にもとづいて、社会奉仕体験活動を目的として行われています。五年ほど前から受け入れていきます。

今年度は、三校四名の先生がいらつしやいました。研修期間が二日間と短いので、仕事はカウンター業務や配架中心ですが、先生たちに地域の図書館を知っていた、だくよい機会だと考えています。図書館と学校との連携が重視されている今、子どもたちが宿題や調べものをするためにどのよう図書館を利用していいのか、図書館にはどんな資料があるのか、目で見て肌で感じていただけたらと思います。お二人の先生の感想を紹介します。



子エックしながら返却処理

くれることを期待しています。図書館に届いた中学生のお礼の手紙の一部を紹介します。

### 中学生からの手紙

拝啓、先日は職場体験のために貴重なお時間をさいていただきまして、ありがとうございます。この三日間、図書館という公共の施設で働かせていただきましたが、仕事をする前は、どんな仕事か想像がつかず、本を並べたりはあつても、決して重労働とは思いませんでした。しかし、実際はもっとハードな仕事の連続で、かなり忙しいカウンター作業があり、さらにそのカウンター作業は体力を使うもので、一日目からクタクタになつてしまいました。二日目も仕事

### 谷戸第二小学校教諭

矢儀 菜子

研修の一環として、中央図書館で図書館司書の方々の仕事を体験させていただきました。二日間という短い時間でしたが、ふだん知ることができない、図書館の裏側を見ることができました。特に、本をICチップで管理しているということに初めて知り驚きました。システムが効率化することで、仕事がスムーズにできています。感じました。図書館の本を借りるにも、様々な努力や過程があることを改めて感じることで、とても貴重で、充実した研修を送ることができました。

### 田無小学校教諭

肥沼美由紀

夏休みの図書館は思った以上に忙しかつたですが、地域の方々と接し、楽しい二日間でした。一日に入れ替わる本の量に驚くとともに、一冊を丁寧に読み進める姿や何冊も抱える利用者の姿を見、改めて本の魅力を考えさせられました。一冊の本が何人の手に渡っているのかを考えると、その長い歴史やそれを支える職員の方々の誠意が図書館の温かさであるのだと感じました。

この実習を機に、学校でも読書の良さ、本の温かさを伝えていきたいと思ひます。